

## —沖縄の年中行事—

前回に引き続き、旧暦

12月24日に行われる、御願

ます。ウグワントウチの日にヒヌカソ（火の神）に

米だよ」とお話をされていま

洗つたお米も、洗う清める

ことと同じ。でも最後にお

洗つた白飯を、蓮のつぼみ

に見立ててヒヌカソにお

供えする地域もあるそう

です。目に見えない大切

なものを敬う時、いろいろ

な意味づけをして語り継い

でいるんですね。みんなも

沖縄の年中行事で不思議

なことや興味をもつたこ

とがあれば、地域の詳しい

人に聞いたりして調べてみ

てね。

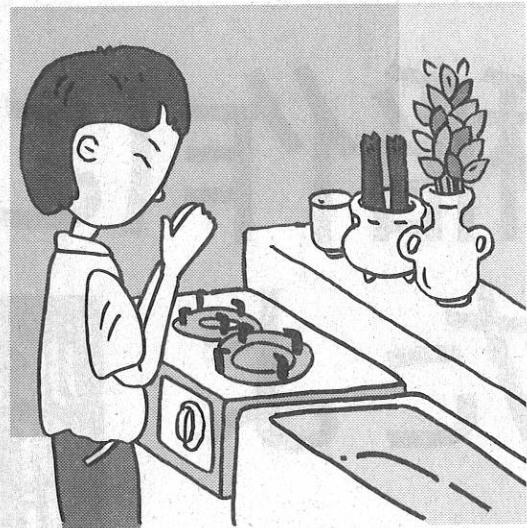
（帰依龍照 球陽寺 住

職、タイムスカルチャーセ

ンター「基礎から学ぶ沖縄

の年中行事」講師）

## 最後にお米 幸せの種まき



めを行う場合に地面にまいりする、花米・洗米・塩には地域によっては、ちよつとした順番があるのでどう解き（ウグワントウチ）についてお話をさせていただきます。今回は、特に作法（準備する物）についての内容です。沖縄では地域によって、年中行事の作法が異なる場合があります。家庭によつては、この日、花米（ハナグミ）と呼ばれるお米や、洗米（アライグミ）と呼ばれる3回（7回などの場合もある）水で洗つたお米、塩（マース）を使用されることあります。

ある時、とても興味深いお話を耳にしたことがあります。

お供えしたり、土地のお清めを行つた場合に地面にまいりする、花米・洗米・塩

は、「どうせ地面にまいりつとした順番があるのでどう解き（ウグワントウチ）についてお話をさせていただきます。今日は、一番がお塩。次が洗つたお米。最後が普通のお

米だよ」とお話をされていま

すね）！

またこの日、ウブク（御仏供）と呼ばれる小高く盛つた白飯を、蓮のつぼみ

に見立ててヒヌカソにお

供えする地域もあるそう

です。目に見えない大切

なものを敬う時、いろいろ

な意味づけをして語り継い

でいるんですね。みんなも

沖縄の年中行事で不思議

なことや興味をもつたこ

とがあれば、地域の詳しい

人に聞いたりして調べてみ

てね。

（帰依龍照 球陽寺 住

職、タイムスカルチャーセ

ンター「基礎から学ぶ沖縄

の年中行事」講師）